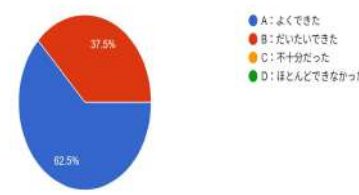
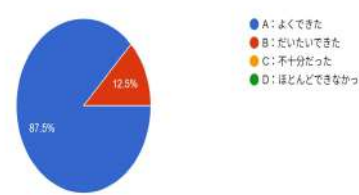
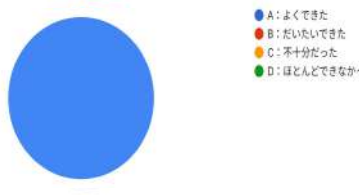
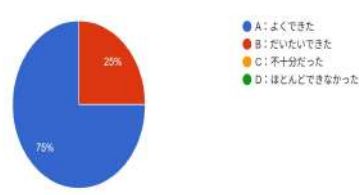


令和7年度の教育活動に対する学校評価表

学校番号	44	キラリ高等学校	課程	通信制	記載者	教頭 岩ヶ谷佐知子					A：よくできた B：だいたいできた C：不十分だった D：ほとんどできなかった						
今年度の重点目標（学校経営目標）		具体的取り組み計画					総合	吉田	浜松	静岡	沼津	グラフ				学校関係者評価委員 意見	
1	静岡県で最初に認可された狭域通信制高校として様々なニーズに対応するために、総合的な教育力をより一層向上させる。	① 基礎学力の確実な定着を図るため、各教科担当間のコミュニケーション量を増し情報共有をしながら、よりわかりやすい授業を展開する。生徒・保護者面談を通じ、主体的に学習に取り組めるように導く。 ② 校内はもとより校外での生活指導も継続して実践・強化し、基本的な社会性・モラル・社会通念上の規範意識の徹底を図る。 ③ 遠足・修学旅行・文化祭などの特別活動や校外スクーリングをより充実させ、多くの生徒が積極的にかかわれるようにする。（全校での体育祭） ④ 進路選択において必要な基本的な知識・技能を育成し、進路決定を自ら推進できるよう導く。（外部機関・企業との連携）	A	AA	BB	AB	AA	設問1 重点目標「静岡県で最初に認可された狭域的な教育力をより一層向上させる」に対する評価 8件の回答 	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽度知的があるが自由に勉強も高校生活も楽しみたいという、通常の高校と特別支援学校高等部しか選択肢がなくどちらも自分に合わないと感じ行き場がなかったグレーゾーンの子どもたちのセーフティネットの役割も果たしてくれていると感じます。</li> <li>とてもよくやってくれていると思います。</li> <li>就職活動についてハローワーク求人だけでなく、地元企業からの指定校求人がもらえる様になれると良いと思います。</li> <li>昨年と比べると、進路のイベントの参加機会が減ってしまったように感じます。授業編成や、生徒人数によっても実施の方法を考える必要があるかと思しますので、ご提案させていただきます。</li> <li>特別活動や校外学習、校外ボランティアなどに生徒を積極的に参加させ、社会性やモラルを養うカリキュラムが充実していると感じる。</li> <li>基礎学力の定着の為、授業・レポートを工夫して下さっている事、行事などを多く設定する事で生徒が楽しみながら人と関わる環境を作ってください事などから、高校卒業後に自分でしっかりと歩いていけるよう働きかけて下さっていることがわかり良いと思いました。</li> </ul>								
2	生徒一人一人の個性を伸ばし、より細やかな指導を行う。	① 困難を有する多様な生徒（不登校傾向・問題行動・発達障害等）が積極的かつ十分な教育を受けられるように、学習に対する動機づけや学びの意欲を喚起できる教員の養成を行う。（スクールカウンセラーの活用）（テスト前勉強会等）（キラリカフェの充実・保護者同志の連携共有） ② 個別対応、部活動、キャリア教育、インターンシップなどの分野に十分対応できる教員を育成する。また専門の機関・企業の協力も進める。 ③ 各校舎・教科単位で内部研修を実施し、キラリ高校の職員として共通の認識の上で、教職員の組織化を推進する。また、外部研修を活用して、多様な困難を有する生徒に対する支援強化を行い、各教職員の指導力・対応力を向上させる。（全体での教科研の定例化） ④ 未履修・休学中の生徒やその保護者へのアプローチを継続して行い、再履修および復学を促す活動をする。家庭訪問の計画的実施を行う。	A	AA	AB	AA	AA	設問2 重点目標「生徒一人一人の個性を伸ばし、より細やかな指導を行う」に対する評価 8件の回答 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ADHD、軽度知的、不登校気味な息子が学校が嫌になくなったと言いつつ、レポートをがんばっています。学習面で難しいことがわかってるので、一緒にレポートをやる補習をしてきてやれています。</li> <li>生徒数に対して、多いとは言えない先生の数で、丁寧に見てくださっていると思います。</li> <li>通学に対して家庭との協力を募るのであれば、スケジュール等をもっと少し明確化して欲しい。自分の子がいつ何時から学校なのかよく分かっていない。</li> <li>先生方と生徒さんの距離が近いことで、のびのびと学ぶことができていたと感じました。</li> <li>多様な生徒に対して少ない職員の数で対応するのはとても大変なのではと思うが、私の息子も含めよく声掛けし話をきき、やさしく対応して下さり素晴らしいと思う。</li> <li>吉田本校以外の評定が低かったが、過小評価だと思いました。（Aで良いと思います）先生方へは、長女が在学中はとにかく生徒に寄り添って下さり感謝しかありませんでした。友達関係で少しも問題があれば、必ず時間を作り話を聞き一緒に悩み考えて下さったり、不登校気味の生徒がいれば、なんとか関わりを作ろうとあらゆる方法を試して下さい下さったそうです。</li> <li>進路指導も熱心にして下さっていますが、大学や企業の話などを聞く機会があれば、卒業後に残念な結果になることが少なくなるのではないのでしょうか。</li> <li>授業以外の部分での仕事が多く、忙しく難しいところもあるかと思いますが、教員間の連携も取れているように感じ、担任だからということではなく、校舎ごとに職員全員で全員の生徒を見守り指導して下さる感じが素晴らしいと思います。</li> <li>通信制という難しい環境でも生徒さんのことを考えてやっているよい学校だと思いました。</li> </ul>								
3	技能連携教育施設（スクーリング会場）のカリキュラム（コース）の改編を推進し、通学タイプの充実を図る。	① より多くの生徒が通学タイプの全日スタイルを選択しやすいように、コース内容の改編を図り、魅力あふれる内容の転換を目指す。 ② ①を推進するために、スクーリング会場ごとにコース担当を決め、会議を行い、コース内容の検討・充実化を図る。 ③ 他会場との連携および意見交換を積極的に行い、より綿密に個々の生徒へ対応する。また昨年来の課題であった授業研修を本格化させる。	A	-	BB	AA	AA	設問3 重点目標「技能連携教育施設（スクーリング）進し、通学タイプの充実を図る」に対する評価 8件の回答 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジョイスポーツコースで色々なスポーツを体験できるのが非常に魅力的で、ゴルフ等の移動がかなり大変そう。</li> <li>通学スタイルを進めていくにあたって、生徒さんへの情報提供ができる講演会を実施できないかとお話をいただきました。卒業後の進路をより豊かにするための取り組みとしてとても良いものだと感じています。</li> <li>自分に合ったコースを選択することができ、無理なく通学できたと思う。</li> <li>カリキュラムコースを、時代や生徒の望む環境に合わせて変更していく取り組みは良いと思います。興味を持てるコースであれば、通学する意欲にも繋がります卒業後の進路選択にも役立つのではないのでしょうか。</li> <li>今まで通りが良いと思います</li> <li>毎日学校に通うことはとてもよいことだと思います。</li> <li>他の会場では様々なコースが用意されており、子どもたちの選択肢がひろがることを期待しています。</li> <li>通学タイプの充実も大切ですが、いつまでも吉田校のウィークリーコースがなくなることを願っています。</li> </ul>								
4	吉田本校の整備・拡充	① 定着しつつある、週3日の平日スクーリング（ウィークリースタイル）を継続して実施し、部活動、キャリアデザイン、インターンシップ、ボランティア等様々な活動を通じ高校生活の充実を図る。 ② 生徒の社会性を高めるために各種イベントを企画することで、様々なニーズに合わせた学校生活の充実を図る。	A	AA	-	-	-	設問4 重点目標「吉田本校の整備・拡充」に対する評価 8件の回答 	<ul style="list-style-type: none"> <li>週3日の平日スクーリング（ウィークリースタイル）が毎日学校に通うのが辛い子どもたちに合っていて意欲的に通えると思います。</li> <li>ぜひ、公立高校で行っているような職場体験を取り入れて欲しいと思います。</li> <li>バレー部等活躍している部活以外にも部活動の新設してはどうか？</li> <li>取り組みについてのお話を聞き、目標達成に向けて様々な企画をしていて感じました。</li> <li>本校ならではの取り組みをされているように感じました。コース授業以外でも外部講師を招いての活動をされているのであれば、他の校舎でも取り入れて欲しいです。</li> </ul>								
5	I C T教育及び校務システムの整備	① レポート（添削指導）のデジタル化への推進と改善。 ② 校務支援システムに関して、生徒増に対応すべくさらなる業務の効率化を図るため、システムの整備・拡充を図る。	A	AA	AB	AB	AA	設問5 重点目標「I C T教育及び校務システムの整備事業」に対する評価 8件の回答 	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯でのレポート提出のおかげで家でも勉強に取り掛かるハードルが下がり自主的にやっている姿が見られました。</li> <li>デジタル化が進むと、文字を書くことが少なくなってしまうと思うので、社会に出た時に困らないよう、文字を手で書く機会を持って欲しいと思います。</li> <li>レポート提出の際のサーバダウンが多くあった様なので、そちらの改善をお願いします。</li> <li>今後ますますインターネットが必要となってきますが、紙媒体も合わせて、生徒さんの進路活動をよりよくサポートができればと思っています。</li> <li>サーバーへ接続しにくくなることはあるが、自分からくさな姿勢でいつでもレポートに取り組めるため、宿題をやりやすくなったと思う。</li> <li>電子化でのレポート提出はまだまだスムーズにいかないようなので、引き続き改善に力を入れていただくをお願いします。</li> <li>個人的には、紙に書くことでしか得ることが出来ないものもあると思うので、浜松校舎の美術のレポートでのデッサンなどの課題は無くさないという姿勢がとても嬉しかったです。</li> </ul>								